



**(仮称)札幌・北海道 GXファンド
について**

札幌市

再生可能エネルギーの導入ポテンシャルは 全国トップクラス

太陽光発電
ポテンシャル

全国 **1** 位



1位 北海道 437,744GWh
2位 千葉県 67,811GWh
全国計 1,875,887GWh

風力発電
ポテンシャル

全国 **1** 位



1位 北海道 1,680,361GWh
2位 東北 973,308GWh
全国計 4,723,137GWh

中小水力発電
ポテンシャル

全国 **1** 位



1位 北海道 5,061.33GWh
2位 新潟県 4,412.18GWh
全国計 51,935.12GWh

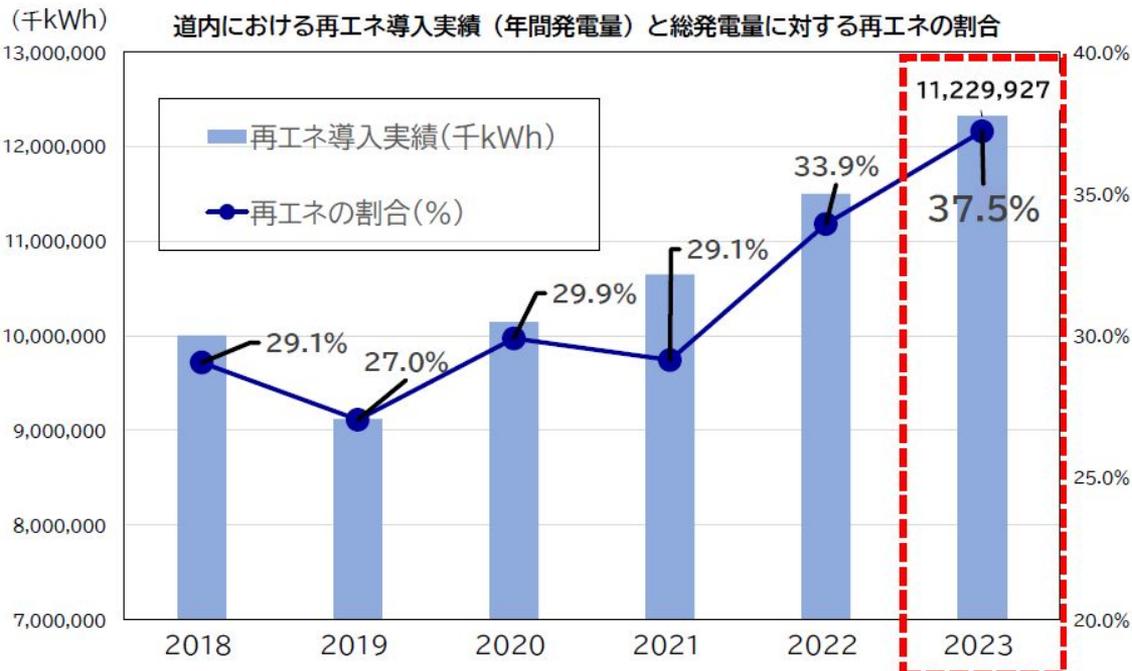
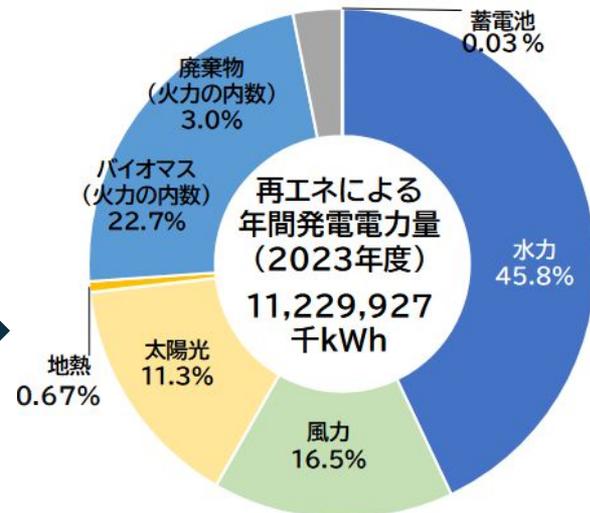
地熱発電
ポテンシャル

全国 **2** 位



1位 岩手県 28,560.24GWh
2位 北海道 15,010.54GWh
全国計 120,518.53GWh

- 道内における再エネ発電量及び再エネ電源比率は年々増加傾向
- 2023年度の道内での再エネによる年間発電電力量は11,229,927千kWhで、**年間総発電電力量の37.5%を占める。**



出典：電力調査統計（経済産業省資源エネルギー庁）2024年12月16日公表時点

再エネ種	年間発電量(千 kWh)
水力発電	5,147,825
風力発電	1,856,609
太陽光発電	1,264,864
地熱発電	76,626
バイオマス発電	2,547,514
廃棄物発電	333,005
蓄電池	3,485

全体の投資スキーム

出資者候補

札幌市
金融機関
道内・道外事業者
機関投資家

- ファンド期間: 運用期間10年
- ファンド組成: 令和7年度中

出資

分配

(仮称)札幌・北海道GXファンド

運営

出資

管理

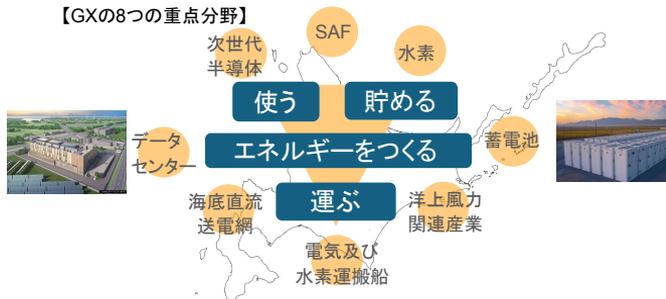
報酬

ファンド運営会社

- ・投資実行、モニタリング、投資回収
- ・出資者に対する運用状況や財務報告
- ・財務状況や取引内容の記録・保存

GXの8つの重点分野に関連するプロジェクト等を主な投資対象とする

【GXの8つの重点分野】



使う

再生エネの利活用を通じて、地域産業の競争力強化と新たな雇用・サービスを生み出し、地域経済の成長につなげる

つくる

豊富な再生エネポテンシャルを活用し、発電から利用までの地域内循環を構築

貯める

再生エネの変動性に対応する蓄電池等の技術を導入し、地域の電力供給の安定性と柔軟性を向上

新たな技術の活用

新たな技術などイノベーション領域への投資を実行する

国内初(※)の「官民連携による地域密着型GXファンド」の組成を契機に、より道内GXへの注目を高め、GX・金融市場の活性化につなげる

※札幌市調べ